

新刊案内



『コールドムーン』 芥川 なお/著	すばる舎	T/アナ
『あの夏のキミを探して』 汐見 夏衛/著	スターツ出版	T/シナ
『かわせみのみちくさ』 瀧羽 麻子/作	偕成社	T/タア
『リセットルーム』 はやみね かおる/著	朝日新聞出版	T/ハカ
『灰とダイヤモンド』 東 曜太郎/作	岩崎書店	T/ヒヨ
『海は忘れない』 村上 しいこ/著	小学館	T/ムシ
『16歳のキミへ 自分らしくどう生きるかが見つかるヒント』 高濱 正伸/著	実務教育出版	T159/タマ
『江戸時代のオタクファイル』 辛酸 なめ子/著	淡交社	T281/シナ
『未来の夜空はどう見える? 銀河が教えてくれること』 谷口 義明/著	岩波書店	T443/タヨ
『「見た目が9割」をどう生きる』 中野 信子・りんたろー./著	小学館	T595/ナノ
『韓国発、人気ショップ100軒のデザイン』 パイインターナショナル/編著	パイインターナショナル	T674/カン
『さあ目をとじて、かわいい子』 サリー ニコルズ/作	偕成社	T F/ニサ



ティーンズのココロ通信

令和7年10月1日 発行

Eメール: info@lib-yama.jp

HP: <https://www.lib-yama.jp>

山口市立中央図書館 262号

〒753-0075 山口市中園町7-7

TEL: 083-901-1040

FAX: 083-901-1144



藝術の秋



今月のテーマは「藝術の秋」です。

ようやく過ごしやすい季節になりましたね。
「食欲の秋」「運動の秋」「読書の秋」など、秋にはいろいろな楽しみがありますが、今月は「藝術の秋」ということで、本をいくつかご紹介しています。

ぜひ手に取って、秋ならではの豊かな時間を楽しんでみてはいかがでしょうか？



●『中原中也のことばと人生』

中原豊／監修 ポプラ社 KY911／ナチ

先頃、中原中也に魅せられて劇団四季を退団、歌手・表現者として活躍されている方のミニコンサートに行きました。中也の詩に曲をつけた歌など中也への想いがあふれる歌とお話で感動的な時間を過ごしました。中也の何がそんなに人を引き付けるのでしょうか。中也はどんな詩人で藝術家だったのでしょうか。この本では中也の残した言葉やエピソード、時代背景などからその人物像に迫り、魅力を紹介します。藝術の秋、あなたも中也の魅力に触れてみませんか。 (H. S)

●『面白いほどわかる！クラシック入門』

松本 大輔／著 青弓社 T760／マタ

みなさんはクラシック音楽にどんなイメージをもっていますか？ポジティブだと「癒し」・「知的」、ネガティブだと「堅苦しい」・「退屈」といった感じでしょうか。私はクラシックを聞くのには理解できる耳が必要なのかと思い込んでいました。ですが、この本は著者がいかにしてクラシック(交響曲)と出会ったか、やクラシックの見方や歴史を初心者にもわかりやすく示しています。

私はクラシック初心者ですが、その曲が作られた年代や作曲家の事情も念頭において聞くと面白いと思いました。 (C. M)

●『めくるめく現代アート』

筧 菜奈子／文 絵 フィルムアート社 T702／カナ

現代アートは、難しいというイメージはありませんか？コンセプトがわからないと理解できなかつたり、評価の基準がわからなかつたり、敷居の高いイメージがあるとあります。そんな現代アートを楽しむための入門書として、この本では戦後から現在まで活躍している作家と代表作品をイラストとともに紹介しており、現代アートを知るために必須なキーワード解説も載っています！あなたもこの本を読んで、現代アートの世界へふれてみませんか？ (K. O)

●『きみの声を聞かせて』

小手鞠 るい／著 偕成社 T／コル

アメリカに住む盲目のピアニストの少年と心を病んで声が出なくなった日本の少女がインターネットを通じて知り合い、障がいや病気の事を告げずに詩と曲のやり取りを始める。少女が作った詩に少年がピアノで曲を付け少女に送る。ただそれだけのことがお互いの心の支えになり日常に喜びを生む。そして少年は日本でピアノの演奏会を開くことになり、演奏会で少女に詩を読んで欲しいと頼むのだが…。音楽や詩など藝術の魅力と力を感じる 1 冊です。 (H. S)

●『はなの街オペラ』

森川 成美／作 くもん出版 T／モシ

大正 7 年、14 歳のはなは、宇都宮から奉公先がある東京へやってきた。はなの特技は一度聞いた歌を歌えること。ひよんなことから歌のレッスンを受けることになったはなは歌劇の世界に足を踏み入れる。そして、浅草オペラで「ハンナ」という名でデビューすることに。人気者になったはなを関東大震災が襲って…。

美術や歌が人の心を支え、生きる勇気を与えるものだと、大混乱の中で確信したはな。逆境の中、音楽の夢にかけける勇気に清々しい感動をもらいました。 (C.M)

●『たのしい色えんぴつ わくわく、ドキドキ毎日描きたい』

秋草愛+こんぺいとうたち／絵 主婦の友社 T725／タノ

藝術の秋、芸術を鑑賞するだけじゃなく、自分でもやってみませんか？挑戦しやすいものとして、色えんぴつはどうでしょう？とても身近で手軽な画材で、だれでも一度は使ったことがあると思います。色えんぴつと紙があれば自由に絵を描くことができますし、色を重ねることでもいろいろな表現もできます。この本には基礎知識と基礎テクニックも載っているので入門書としてピッタリ！この秋にあなたも色えんぴつで絵の世界に挑戦してみませんか？ (K. O)